

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

山形県 朝日町

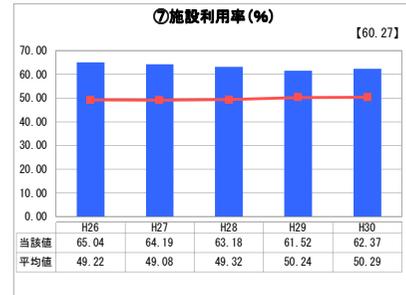
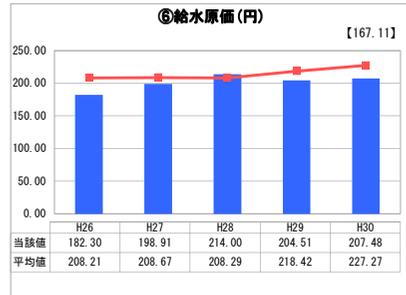
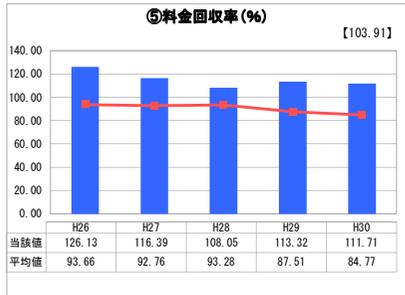
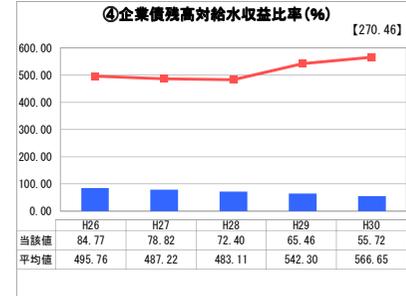
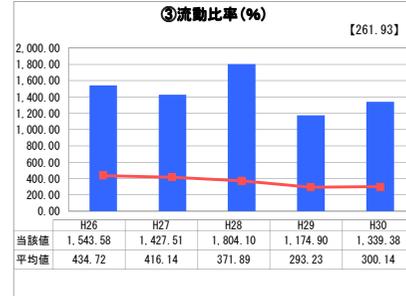
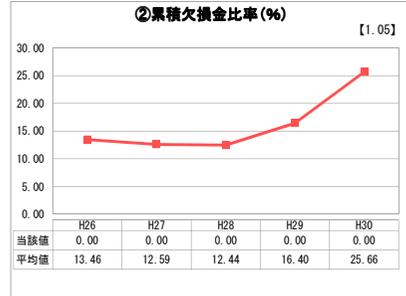
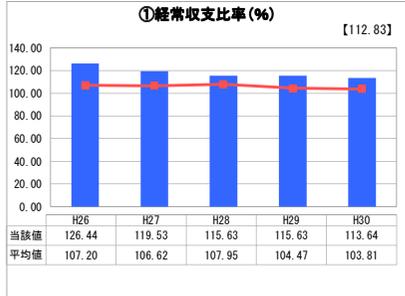
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	91.07	97.06	4,170	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
6,869	196.81	34.90
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
6,611	19.50	339.03

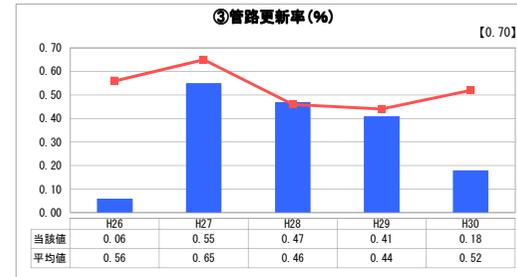
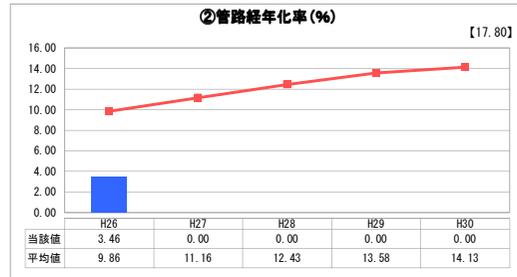
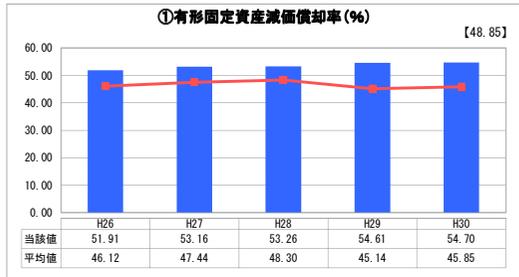
**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ・経常収支比率は100%を超えているものの、右肩下がり傾向にあり健全経営に努める必要がある。
- ・企業債残高対給水収益比率については、新規の企業債発行を行っていないので減傾向にある。
- ・給水原価が上昇傾向にあるので、今後も経費の削減や業務の効率化などに努める必要がある。
- ・施設利用率は全国・類似平均値とほぼ変わりはないが、有収率が低いので漏水対策を講ずるなど配水量が収益に結び付くよう努める必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

- ・法定耐用年数を向かえた資産を多く有するため、有形固定資産減価償却率が高い状況であり、管路や施設などの更新を計画的に行っていく必要がある。

### 全体総括

- ・給水人口の減少に伴う給水収益の減が予想されるので、これまで以上に経費の削減、投資の効率化などにより健全経営に努める。
- ・平成30年度に策定した『経営戦略』に基づき、管路や施設を計画的に更新していく。